

## 「ありがとう」のお墓

第 9 回で入賞した群馬県群馬郡の小根澤洲一郎さん(当時 59 歳)のお墓は、大判焼きのような丸い墓碑に「ありがとう」の文字。眠る人へ、そしてお参りに来てくれた人への感謝の念が込められたお墓である。<母が亡くなり、建墓を計画しました。ずっと暖かくみまもっていてくれた母への「ありがとう」と、お墓参りにきてくれて「ありがとう」の母の声が聞こえるような。ふたつの「ありがとう」が結び合うところになりました。>



第 11 回で入賞した千葉県柏市の村 憲三さん (当時 59 歳) は、家族 5 人が一文字ずつ書いた「ありがとう」のお墓。人・絆・感謝・笑顔。我が家は 3 人の娘に恵まれ、2 人の娘が結婚した今もいつも一緒に過ごしています。この墓も、妻と 3 人の娘と一緒に相談し、気持ちを一つにして作りました。

形: 人をイメージしています。人という形は互いに寄り添って支え合っていていきます。家族は更に支え合う。そんな気持ちを込め、どっしりとした石を寄り添わせ、人という形にしました。

絆: 家族は、何にも代えられない固い絆で結ばれていることを常に心に刻むよう、『絆』という文字を選びました。これは家族全員がそれぞれ習字で『絆』という字を書き、最終的に妻が書いたものを採用しました。

ありがとう: 『いつもいつもありがとう』『お墓参りしてくれてありがとう』お互いにいつまでも感謝の気持ちを忘れずにいよう、という気持ちを込め、家族全員で一文字ずつ書きました。

笑顔：どんな時も笑顔を忘れずに、明るい家族でありたいという意味をこめています。

たとえこれからどんな事であろうと、家族の絆・感謝の気持ち・笑顔を忘れずに、寄り添い支え合って生きていきたい。そんな願いも込め、みんなで案を出し合い建立しました。

第14回で入賞した鹿児島県鹿屋市の齊之平 真弓さん（当時47歳）のお墓は、母への感謝の想いを込めて「すべてに感謝 ありがとう」の文字入りお墓。

いつも明るく、人が大好きな母でした。糖尿病から腎臓を患い、週3回の透析生活はさぞ辛かっただろうと思いますが、体調の良い時は来客があるとお茶やコーヒーのおもてなしを忘れない母でした。本当にいろいろな方に支えられ、生き抜いてこられた73年間だったと思います。そんな感謝の想いを込めて「すべてに感謝 ありがとう」の文字を刻みました。お花立ても優しいハート型です。お参りに来てくださった方と一緒に。テーブルでお茶を楽しんでいる母の姿が目に浮ぶようです。命ある限り、感謝しながら生きていたいものですね。



第21回の大賞に輝いた山梨県北杜市の内藤 光代子さん（当時69歳）は、二人のお孫さんが書いた「ありがとう」と「ありがとう」の二つの「ありがとう」を刻んだお墓。上の『ありがとう』はおじいちゃんが私たちに掛けてくれる言葉、下の『ありがとう』は私たちからおじいちゃんへ。孫2人が書いた「ありがとう」。



お墓に彫る文字は『ありがとう』に決めていました。72歳というまだまだこれから元気で過ごしてほしかった夫は、5人兄弟の長男。兄弟家族ともとても仲が良く、親戚との宴会もよくありました。その宴会の席で、必ず歌われる歌。「今日もこうして会えるのは園長先生（夫の兄、幼稚園経営）のおかげです。…今日もこうして飲めるのは、勝兄貴のおかげです。ありがとう ありがとう」感謝の

気持ちを素直に「ありがとう」と口に出すことが家風でした。夫も自分の病気のことは気づいていましたが、最後はとても穏やかで、いつものとおり『ありがとう、ありがとう』と言っていました。

書についてははじめは石屋さんに任せようと思いましたが、「せっかくですからお孫さんに書いていただければ？」という石屋さんの勧めで、習字を習い始めたばかりの5年生と3年生の孫(姉と弟)に書いてもらうことにしました。孫たちもおじいちゃん大好きで、晩年は二人で夫の足を一本ずつもんであげたりするなど、懸命に看病の手伝いをしてくれました。そんな二人がこんなに堂々として、まっすぐで、あたたかい字を書いてくれました。『ありがとう』一つだけのつもりだったけど、二人とも立派な書なので両方彫りました。上の『ありがとう』はおじいちゃんが私たちにかけてくれる言葉、下の『ありがとう』は私たちからおじいちゃんへ。昔からそうやって声をかけあってきたから、みんなも自然にそんな意味づけを受け入れました。できあがったお墓の前に立つと自然に「ありがとう、ありがとう」と語りかけたくなります。



同じく第 21 回で入賞した福岡県大野城市の田中 由美さん(当時 46 歳)も「ありがとう」の言葉入りのお墓。主人は、脳腫瘍のため4ヶ月の闘病生活の後他界してしまいました。主人は家族が大好きで、私と子供3人を残して逝ってしまいました。そんな主人に世界に1つしかない愛情いっぱいのお墓をプレゼントしようと、お墓作りが始まりました。それはそれは、楽しい時間でした。色々と話し合い、デザインを決め自分達で絵を描きました。文字は「～家」ではなく、「ありがとう」にしました。これは、私達から「(お父さん) ありがとう」と言う気持ちと又、お墓参りに来て下さった方々に主人から「(来てくれて) ありがとう」を伝えたくて「ありがとう」にしました。

